

**製品名: ARHGAP9 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07126**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	90kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARHGAP9
別名	ARHGAP9; Rho GTPase-activating protein 9; Rho-type GTPase-activating protein 9
遺伝子 ID	64333.0
SwissProt ID	Q9BRR9
免疫原	抗血清はヒト RHG9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 220-269

**背景**

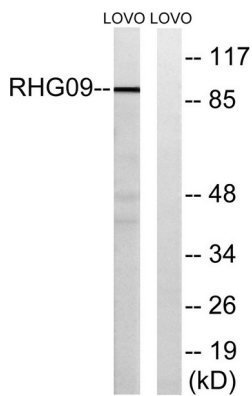
この遺伝子は、GTPase 活性化タンパク質である Rho-GAP ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、in vitro においていくつかの Rho ファミリー GTPase に対して強い GAP 活性を示し、それらを不活性な GDP 結合状態に変換します。造血細

胞の細胞外マトリックスへの接着を制御することが示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: Rho 型 GTPase を不活性な GDP 結合状態に変換する GTPase 活性化因子。CDC42 および RAC1 に対して強い GAP 活性を示し、RHOA に対しては低い GAP 活性を示します。造血細胞の細胞外マトリックスへの接着を調節する役割を果たします。類似性:PH ドメインを 1 つ含みます。類似性:Rho-GAP ドメインを 1 つ含みます。類似性:SH3 ドメインを 1 つ含みます。類似性:WW ドメインを 1 つ含みます。組織特異性:主に末梢血白血球、脾臓、胸腺で発現します。、

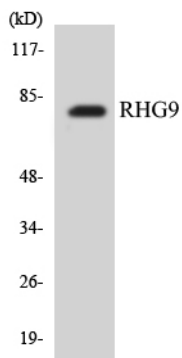
## 研究分野

-

## 画像データ



RHG9 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RHG9 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。